

# 光星、100回目の夏堂々

## 甲子園開幕 56校行進

第100回記念となる全国高校野球選手権は5日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開会式が行われ、歴代最多の全国56代表校による熱戦が開幕した。本県代



長南主将(左)を先頭に、堂々と行進する八学光星ナイン。5日午前、甲子園球場

表で2年ぶり9回目出場の八戸学院光星は54番目に入場。ナインは大きく腕を振り、堂々の行進を見せた。大会は21日まで。【詳報15面】

開会式は昨夏覇者の花咲徳栄(北埼玉)を先頭に、各代表校が南から順に入場。八学光星は長南佳洋主将に続き、豊田勝利選手の力強い掛け声に合わせて選手18人が行進した。猛暑を考慮し全選手が整列した後に行われた「給水タイム」では、全選手が一斉にポケットからペットボトルを取りだし水分補給した。

選手宣誓で近江(滋賀)の中尾雄斗主将が「100回という記念すべき年に野球ができることに感謝し、多くの人々に笑顔と感動を与えられる、最も熱い、本気の夏にする」と誓った。八学光星の初戦は、大会第7日(11日)の1回戦第2試合。地元の明石商(西兵庫)と対戦する。

(高松拓輝)